

作目名	ぎんなん
-----	------

<露地栽培>

○技術体系設定の前提条件

(1)対象地域

県下全域

(2)立地条件

耐寒性があり、県下全域に植栽は可能であるが、土壌が浅く、乾燥しやすい土地、風当たりの強い高台、晩霜害の常習地帯などは避ける。したがって、栽培適地は土壌が深く肥沃地で保水力に富むところである。また、収穫に労力を要するため、効率よく採集・運搬のできる地形が望ましく、ひどい傾斜地は避ける。

腐敗した外種皮や調整中に分離された外種皮、汚水は臭いが強く、河川に入ると魚にも影響が出るので、植栽、調整場所は注意する。

(3)目標収量と植栽間隔（10a 当たり）

	植え付け	結実開始	若木期	成木期
樹 齢 (年)	1	5 ~	10 ~ 20	40 ~
収 量 (kg)	0	100	200 ~ 300	500 ~ 1,000
栽植本数 (本) (栽植距離) (m)	40 ~ 28 5 × 5、6 × 6		10 ~ 7 10 × 10、12 × 12	10 ~ 7 10 × 10、12 × 12

○生育過程

月・旬 作型	1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12			備 考 (品種)
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
露地栽培	✂ — ✂△ — ☆ — □□□□□ —																																				金兵衛 久寿 藤九郎

✂整枝せん定 ☆摘果 ☆開花 □収穫 △基肥 △追肥

(3) 土づくり・施肥

①土づくりの方法

たい肥等の種類	投入量	備考
完熟堆肥	2 t	

②施肥基準（10a 当たり）

施肥成分	総量	基肥	追肥	追肥	追肥
窒素	10.0	2.8	2.4	2.4	2.4
りん酸	14.8	10.0	1.6	1.6	1.6
加里	8.4	2.4	2.0	2.0	2.0

施肥設計にあたっては、堆肥中の有効成分を測定し、それを施肥基準から差し引き肥料の施用量を決定する。